

日本鋼索交通協会会长 ホワイトワールド尾瀬岩鞍代表取締役 星野会長インタビュー



昭和54年	早稲田大学法学部卒業
昭和55年	尾瀬開発株式会社入社 常務取締役
平成20年	群馬県議会議員当選 以来6期当選
平成7年	尾瀬開発株式会社（現在、株式会社尾瀬岩鞍リゾート）代表取締役社長
平成12年	群馬県スキー場経営者協会会长 、令和3年副会長
平成18年	日本鋼索交通協会会长



岩尾専務

本日はホワイトワールド尾瀬岩鞍のお話を聞かせいただくとともに、長年にわたり群馬県スキー場経営者協会会长をされていたこと、また、日本鋼索交通協会会长としてのお話もお伺いしたいと思います。未来志向で、スノースポーツやスノーリゾートに携わる方々が希望の持てるようなお話を聞かせいただければと思います。先ず、現況とホワイトワールド尾瀬岩鞍が目指されている点はいかがでしょうか。

星野会長

新型コロナウイルスの蔓延防止等重点措置がとられていることから、日帰りの個人客は伸びているものの、団体、グループ客はほとんど見込めない状況です。県下で見ると、スキー修学旅行が特に厳しく、宿泊を伴うスキー修学旅行、日帰りのスキー教室共にすべて中止または延期です。岩鞍地区には旅館や民宿が40軒ほどありますがコロナ下で総じて経営は厳しく、夏の大学生の合宿もなくなりました。

ホワイトワールド尾瀬岩鞍としては、スキーヤー、スノーボーダーにとって滑りごたえのあるスキー場を目指しています。例えば、チャンピオンコースは、快適に楽しんでいただくため昼にもう一度コースの圧雪をしています。合わせて、将来のスキーポート確保のため、特に子供たちにスキーの楽しさを伝えたいと思います。そのため、ちびっ子広場で雪に親しんでいただく、また、屋内的人工芝の緩斜面でまず感覚をつかんでいただく、子供向けのスクールでは、技術指導よりも遊びを取り入れ楽しんでもらうことを重視しています。

河野常務

スキースクールの在り方については全く同感です。上級者向けの技術指導と初心者向けの指導は別物で、初心者には指導を通してスキーやスノーボードに親しんでいただき、その楽しさを知っていただくことが肝要です。コンシェルジュ的なスキー教師の養成が必要と思います。

星野会長)

ホワイトワールド尾瀬岩鞍としては、経営のみならず雇用の点からも通年対策としてキャンプ場にも力を入れています。また、かつてはリフトの本数を競うような時代もありましたが、十分に安全を確保したうえで、コースは確保しつつリフトの掛け替えでリフトの本数を減らす等その効率化に努めています。スキー客の立場に立ち利便性を向上させることが大切で、リフト券もシーズン券、時間券等、利用客の需要に合わせ種類を増やしています。

岩尾専務)

地域としてはどのように取り組まれているでしょうか？

星野会長)

尾瀬岩鞍、川場、丸沼高原、宝台樹スキー場で共通のオートゲートシステムを採用しており、「パウダー4」として、共通リフト券を発売しています。ICT化、キャッシュレス化も進めています。コロナ前は尾瀬エリアにもインバウンドが入り始めました。東京に近いというメリットもあります。スキー場や宿等の関係者が、地域として連携し、売り出してゆくことが必要でしょう。

岩尾専務)

群馬県スキー場経営者協会副会長、日本鋼索交通協会会長としてのご見解はいかがでしょうか？

星野会長)

群馬県は東京から近く、スキー場だけではなく温泉もあります。インバウンドを見据えた時、スキー場や温泉単体ではなく、例えば畳の宿、日本食、地元の伝統文化等、トータルで日本の田舎を体験していただくという売り込み方が有望だと思います。インバウンド効果もありキャッシュレスも随分進みました。標識などの多言語対応も進めてゆく必要があるでしょう。

観光に対する考え方が随分変わってきました。かつては観光は物見遊山、遊びとみられていましたが、今では今後発展が見込める重要な産業として、国を挙げて海外にも積極的に売り込みを図っています。観光庁もできました。冬場の観光閑散期にとって雪やスノースポーツは貴重な観光資源であることが国にも認識されつつあるように感じます。

日本にはスキー場が400以上あり、その違い、特徴、個性が利用者にうまく伝わっていない事もあり、ともするとリフト券の安売り合戦になりやすい事が懸念されます。

岩尾専務)

日本のリフト券は諸外国と比べて安すぎますね。

星野会長)

リフト料金が安すぎると設備投資もできません。国際レベルのスノーリゾートを目指すのであれば、リフト料金が高くてもそれに見合うだけのクオリティーがあれば満足していただけるはずです。国際レベルのスキー場、庶民的なスキー場、地元住民のためのスキー場など、区別があってもよいのではないでしょうか。ただ、これらの情報をスキーヤーに適切に伝え違いを分かっていただくことはなかなかむずかしい課題です。

岩尾専務)

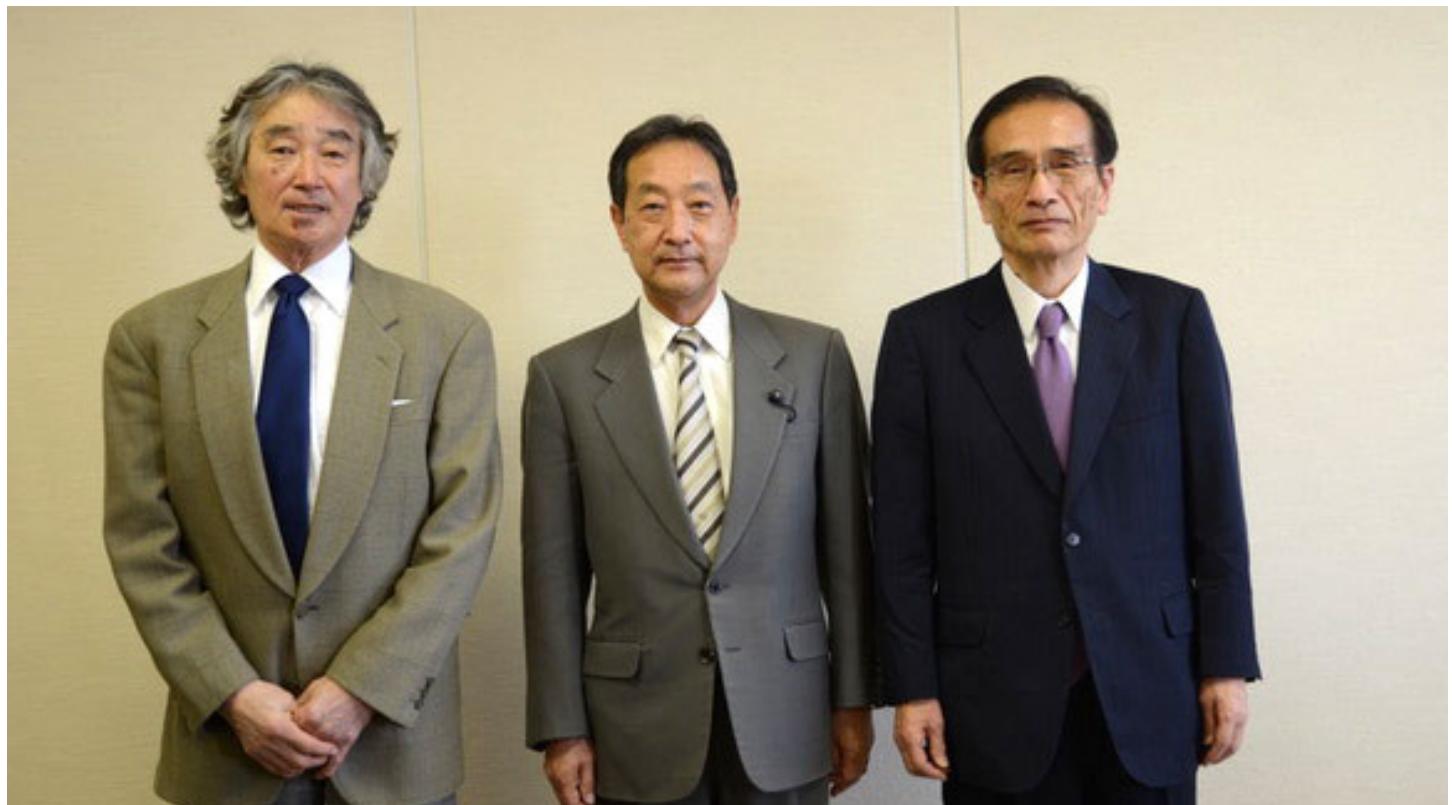
貴重なご意見、ありがとうございました。最後にスノースポーツ、スノーリゾートに携わる皆様に向けて一言お話ををお願いします。

星野会長)

利用者の目線で、どうすれば利便性が向上するかを考えてゆくことが大事だと思います。スキー場も様変わりしており、かつてのスキー愛好家を呼び戻すための方策を考えてゆかなければなりません。また、将来を担う子供たちにスキー、スノーボードの楽しさを知ってもらうことは極めて大切であり、スキースクールのみならず、スキー事業者も一緒になって取り組む必要があると思います。

岩尾専務

本日は貴重なご提言をいただきありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。



写真（左から）：河野常務理事／星野会長／岩尾専務理事